

活動プログラム展開案④<小学校>
 「トラブルにならないような話し方を練習しよう」

- ◆本時のねらい
 - ・トラブルにならないような話し方について考えて、練習することができる。
- ◆授業前の取り扱い
 - ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、児童の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
 - ・本時の内容について配慮を要する児童がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。
- ◆展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド15】は、展開案の後に示しています。なお、スライド資料を使用せずに、その場でモデリングを行ったり板書したりすることも可能です。)

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
1. 前時の学習について振り返る。 【3分】	【スライド1】 ○前の時間は、「トラブルにならないような話の聴き方」について学習しました。聴き方のポイントは4つありましたが、覚えていますか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【きき方のポイント】 ① 相手の顔を見て聴く ② うなずきながら聴く ③ 相づちを打ちながら聴く ④ 最後まで聴く </div>	・【スライド1】は、授業前に提示しておく。
2. 本時のめあてを知る。 【2分】	【スライド2】 ○トラブルが起きる原因の一つに、怒りの感情がありました。話し方や話す言葉によって、トラブルになりにくくなります。今日は、トラブルにならないような話し方を練習します。	・ここでの「話し方」とは、声の大きさや言葉遣いといったスキルと、会話の中で交わす言葉の内容の両面に関わることとする。
【本時のめあて】 トラブルにならないような話し方を練習しよう		
3. モデリングを見て、話し方のポイントを知る。 【10分】	【スライド3】 ○これから、トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかについて学習します。Aさんの話し方に注目して見ましょう。	
【トラブルになりそうな場面①】 昼休みにAさんとBさんは、運動場でボール遊びをしました。昼休みが終わり、Aさんは、ボールの片付けをBさんに頼もうとしています。		
(1) モデリングを見る。	○3つの話し方を動画で見てもらいます。どれがトラブルにならないような話し方か考えながら見ましょう。	・モデリング動画を使用せずに、教師や児童でモデリングを行

ってもよい。その場合は、事前に打合せや練習を行っておく。
 ・話し方に注目させるために、「聴く役」は役割カードを首に掛けてモデリングを行い、話し方の違いが明確になるように演じる。

【スライド4(動画)】

○まず、1つ目の話し方です。

モデリングⅠ 攻撃的な話し方(強い口調で)

A: ボール片付けとけよ。
 B: えっ、なんで。
 A: いいから。分かったな。
 B: (ムツとした表情になる)

【スライド5(動画)】

○次に、2つ目の話し方です。

モデリングⅡ 非主張的な話し方(下を向いて、小声で)

A: ねえ、あのさ…。
 B: 何?
 A: えっとね。実は…。
 B: ? (首をかしげる)

【スライド6(動画)】

○そして、3つ目の話し方です。

モデリングⅢ トラブルにならないような話し方
 (練習1シナリオ) (おだやかな口調で)

A: どっちが片付ける? 昨日も、ぼくが片付けたよね。
 B: うん。
 A: 2回連続で片付けるのは嫌だから、今日は片付けてもらっている?
 B: ぼくも片付けるの嫌だな。
 A: じゃあ、今日はぼくが片付けるから、次は2回連続で片付けてくれる?
 B: うん、分かった。
 A: ありがとう

(2) 話し方のポイントを考える。

○どの話し方が、トラブルにならないような話し方だと思いますか。また、それはどのようなところから感じますか。
 ・3つ目。
 ・話し方がやさしい。
 ・はっきりと話している。
 ・Bさんに「2回連続で片付けるのは嫌だから、

・どのようなところが良かったか、気づきを出させながら話し方のポイントを押さえる。
 ・内容の部分の気づきが十分出ない場合も

4. 話し方のポイント
に気を付けながら練習する。

(1) 練習1
【10分】

今日は片付けてもらっていい？」と、自分の気持ちをやさしく、でもはっきりと伝えている。
・Bさんが「ぼくも片付けるの嫌だな。」と言っても怒らずに、別のことを伝えていたから、いいなと思った。

【スライド7】

○話し方のポイントをまとめてみましょう。今日、皆さんに練習してほしい話し方のポイントは4つあります。

【話し方のポイント】

- ① やさしく話す
- ② はっきりと話す
- ③ 自分の気持ちを伝える
- ④ 相手がなっとくするような提案をする

○4つの話し方のポイントが分かりましたか。トラブルにならないようにするために、穏やかな話し方をするとよいですね。

【スライド8】

○これから練習をします。練習するときの約束を確認します。

- ・恥ずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見つける

【スライド9】

○最初は、動画の3つ目の場面【モデリングⅢ】(練習1シナリオ)を演じてください。

○4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて練習します。

○時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験します。

○「見守る役」の人は、「話す役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。練習が終わった後で、できていたポイントや良かったところを「話す役」の人に伝えてください。

考えられる。話し方のポイントをスライドで提示するときには説明を加える。

・それぞれのポイントについて具体的にどのようにすればよいのかを全体で確認する。

・実際に行動できるようにするためには、約束を守って練習することが大切であることを伝える。

・ワークシートと役割カード、ニコマークとニコニコマークのセットを配付する。
・役割の交代の仕方を提示する。「話す役」「聞く役」「見守る役」の役割カードを首に掛け、時計回りに役割を交代するようにする。

・「見守る役」は「話す役」が話し方のポイントを使っていたかどうか目に向けさせる。そのとき、「見守る役」にニコマークとニコニコマークのセットを持たせ、ロールプレイが終わったらどちらかを出すように「見守

<p>(2) 練習2 【15分】</p>	<p>○「話す役」と「聴く役」の人は、ワークシートを見てもよいです。 終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。 練習の仕方は分かりましたか。</p> <p>【スライド10】 ○練習をしましょう。</p> <p>○練習を振り返りましょう。トラブルにならないような話し方ができましたか。ワークシートの1回目のところに丸を付けましょう。</p> <p>○グループの練習で良かったところを紹介してください。</p> <p>○先生が見つけた「話し方名人」を紹介します。</p> <p>○次の練習で頑張りたいポイントを決めて「がんばりたいポイント」のところに丸を付けましょう。また、ポイント以外でも工夫できそうなことを見つけたら、★印のところに新しいポイントとして書き加えましょう。できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが上手に使えるようになったりするとよいですね。</p>	<p>る役」に指示しておく。</p>
	<p>【スライド11】【スライド12】 ○次の練習をします。ワークシートの裏面を見てください。次は、話し方のポイントを入れた台詞を考えてもらいます。図書館に入った新しい本を自分が先に借りたいと、AさんがBさんをお願いする場面です。練習1の台詞を参考にしながら、全員で台詞を考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入させる。 ・話し方の良かった児童を数名紹介し、話し方のポイントを再確認する。 ・ポイント以外でも工夫している点を紹介し、新しいポイントとして挙げてよいことを知らせる。 ・練習1の台詞を参考にしながら考えを出し合い、台詞を完成させる。 ・練習2のシナリオを大きく提示し、全員で考えた台詞を入れて、完成させる。

【トラブルになりそうな場面②】
(練習2シナリオ)

【場面】

図書室に新しい本が1さっだけ入りました。AさんもBさんも、その本を借りたいと思っています。Aさんは、Bさんに「先に自分が借りたい」と言いますが、Bさんも「自分が先に借りたい」と言っています。Aさんは、どのような話し方をすればよいでしょうか。

【役割】 A：話す役 B：聴く役

A：この本、1さっしかないんだよね。

B：うん。

A： **【自分の気持ちを伝える】**

例：この本、どうしても借りたいから、先に借りさせてもらえるかな？

例：この本を早く読みたいから、しばらく待ってもらっていいかな？

B： え～、ぼくが先にこの本借りたいな。

A： **【相手になつとくするような提案をする】**

例：じゃあ先に借りていいから、読んだらすぐ声をかけてね。

B： うん、分かった。

A： ありがとう。

- ワークシートに台詞が書けましたか。
- 4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて練習します。
- 「見守る役」の人は、「話す役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。後で、できていたポイントや良かったところを「話す役」の人に伝えてください。
- 練習の仕方は分かりましたか。では、2回目の練習をしましょう。
- 2回目の練習を振り返りましょう。トラブルにならないような話し方ができましたか。ワークシートの2回目のところに丸を付けましょう。
- グループの練習で良かったところを紹介してください。
- 先生が見付けた「話し方名人」を紹介します。

- ・役割の交代の仕方を提示しておく。「話す役」「聴く役」「見守る役」の役割カードを首に掛け、時計回りに役割を交代するようにする。
- ・「見守る役」は「話す役」が話し方のポイントを使っていたかどうか目を見させる。1回目と同様に、ニコマークとニコニコマークのセットを使って行わせる。
- ・ワークシートに記入させる。
- ・話し方の良かった児童を数名紹介し、話し方のポイントを再確認する。

5. 本時の学習を振り返る。
【5分】

【スライド13】【スライド14】

- 今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。

- ・ふりかえりシートを配付する。

【スライド15】

- 今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。
 - ・やさしく話すことができてよかった。
 - ・ポイント以外に笑顔で話すことを頑張った。
 - ・やさしく話したら、相手もやさしく返してくれたということが分かった。

- ・ふりかえりシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。
- ・机間指導をしながら児童が書いている内容を確認して、発表する児童がいない場合は、それを紹介してもよい。

	<p>○今日、学習した話し方のポイントを使って、トラブルにならないような話し方ができるとよいですね。</p> <p>○次の時間は「トラブルが起きたときにはどのようにすればよいか」について学習します。</p>	<p>・他の場面でも、活用できることを意識させる。</p> <p>・次時の学習について知らせる。</p>
--	---	--

◆評価の視点

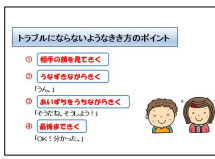
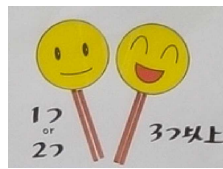
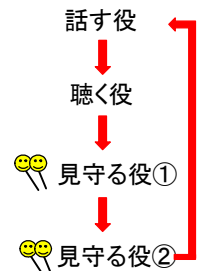
- ・トラブルにならないような話し方について考えて、練習することができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・児童の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における児童の様子を観察する。

板書計画(4時目)

【めあて】トラブルにならないような話し方を練習しよう

【前時のふりかえり】	【スキルのポイント】	【練習するときの約束】	【役割の進め方】	【練習シナリオ】
 <p>※前時の学習で使用した資料などを提示します。</p>	<p>① やさしく話す ② はっきりと話す ③ 自分の気持ちを伝える ④ 相手がなっとくするような提案をする</p> <p>※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に児童からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。</p>	<p>・はずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見つける</p> <p>【相互評価の説明等】</p>  <p>※練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり相互評価のやり方の説明を板書したりします。</p>	<p>話す役 ↓ 聴く役 ↓ 見守る役① ↓ 見守る役②</p> 	<div style="border: 1px solid gray; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>※練習2のシナリオを提示しておき、台詞を考えさせたあとに児童から出された台詞を書き入れる際に使います。</p>

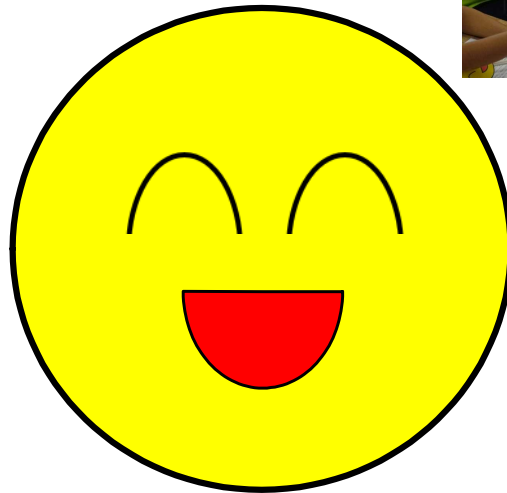
【ニコマーク&ニコニコマーク】

※原寸大

※それぞれの表情を2枚ずつ厚紙に印刷し、その間に割り箸を挟んで仕上げます。



ニコマーク

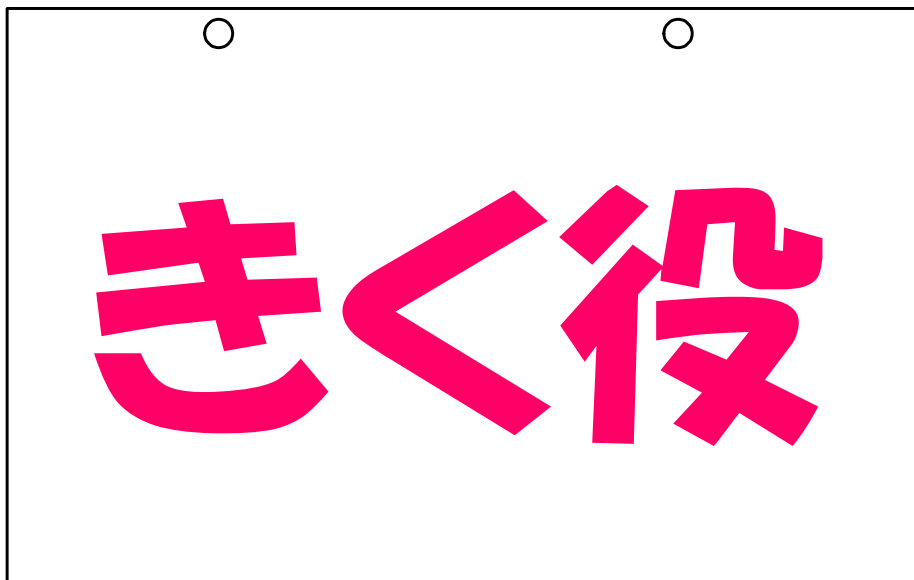


ニコニコマーク



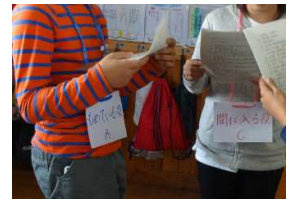
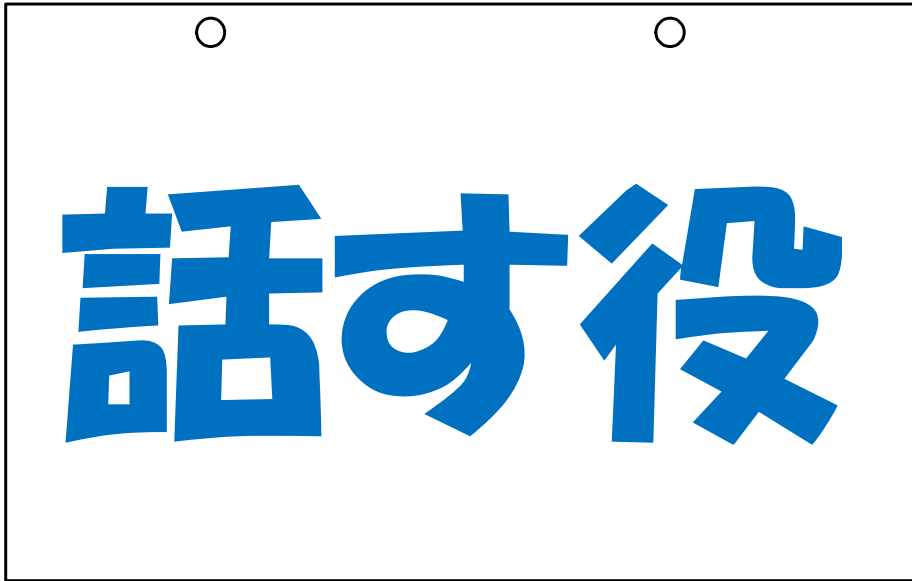
【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

トラブルにならないために・・・



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、「トラブルにならないような話の聴き方」について学習しました。聴き方のポイントは4つありましたが、覚えていますか。

- ・相手の顔を見て聴く
- ・うなずきながら聴く
- ・相づちを打ちながら聴く
- ・最後まで聴く

でした。

【スライド2】

トラブルにならないような話し方を練習しよう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルが起こる原因の一つに、怒りの感情がありました。話し方や話す言葉によって、トラブルになりにくくなります。

今日は、トラブルにならないような話し方を練習します。

【スライド3】

トラブルになりそうな場面①

【場面】

昼休みにAさんとBさんは、運動場でボール遊びをしました。
昼休みが終わり、Aさんは、ボールのかたづけをBさんにたのまっています。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

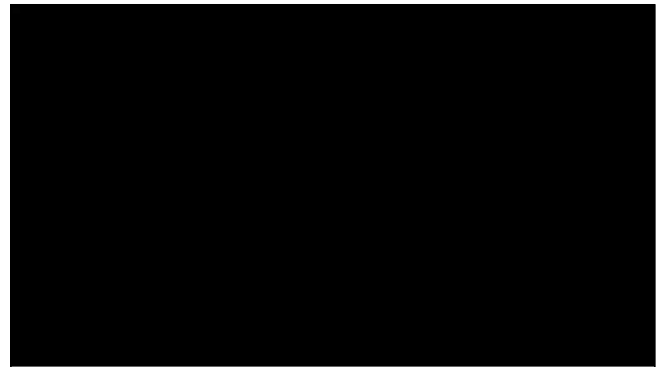
これから、トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかについて学習します。

Aさんの話し方に注目して見ましょう。

3つの話し方を動画でも見てもらいます。

どれがトラブルにならないような話し方が考えながら見ましょう。

【スライド4】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

- まず、1つ目の話し方です。

【スライド5】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

- 次に、2つ目の話し方です。

【スライド6】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

- そして、3つ目の話し方です。

どの話し方が、トラブルにならないような話し方だと思いますか。
 また、それはどのようなところから感じますか。

- ・3つ目。
- ・話し方がやさしい。
- ・はっきりと話している。
- ・Bさんに「2回連続で片付けるのは嫌だから、今日は片付けてもらっていい?」と、自分の気持ちをやさしく、でもはっきりと伝えている。
- ・Bさんが「ぼくも片付けるの嫌だな。」と言っても怒らずに、別のことを伝えていたから、いいと思った。

【スライド7】

【話し方のポイント】

①やさしく話す
 ②はっきりと話す

A:どっちがかたづける?昨日も、ぼくがかたづけたよね。
 B:うん。
 A:2回連続でかたづけるのはいやだから、
 今日のかたづけてもらっていい?
 B:ぼくもかたづけるのいやだな。
 A:じゃあ、今日はぼくがかたづけるから、
 次は2回連続でかたづけてくれる?
 B:うん、分かった。
 A:ありがとう。

③自分の気持ちを伝える
 ④相手がなっとくするような提案をする

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

話し方のポイントをまとめてみましょう。今日、皆さんに練習してもらいたい話し方のポイントは4つあります。

- 全体を通して
- やさしく話したり、
 - はっきりと話したりすると、トラブルになりにくなります。

そして

- 「2回連続で片付けるのはいやだから、今日は片付けてもらっていい?」と、自分の気持ちを相手に伝えます。

もし、このように伝えても、相手が「ぼくもいやだな」という場合もありますね。

そんな場合は、最後に

- 「じゃあ、今日はぼくが片付けるから、次は2回連続で片付けてくれる?」と、相手が納得するような提案をします。

4つの話し方のポイントが分かりましたか?
 トラブルにならないようにするために、穏やかな話し方をするとよいですね。

【スライド8】

【練習するときの約束】

- ・はずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見つける

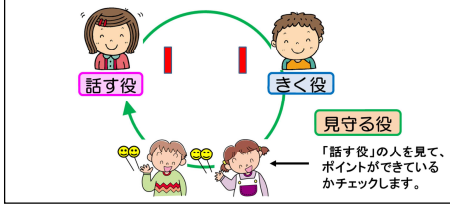
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これから練習をします。練習するときの約束を確認します。

- ・恥ずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・良いところを見つける

【スライド9】

【練習の仕方】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印の時、アニメーションを動かす)

最初は、動画の3つ目の場面【モデリングⅢ】(練習1シナリオを演じてください)。

4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて練習します。

●時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験します。

「見守る役」の人は、「話す役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。

練習が終わった後で、できていたポイントや良かったところを「話す役」の人に伝えてください。

「話す役」と「聴く役」の人は、ワークシートを見てもよいです。

終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。
 練習の仕方は分かりましたか。

【スライド10】

1回目の練習をしましょう

Aさん…話す役 Bさん…きく役

A: どちらがかたづける？昨日も、ぼくがかたづけたよね。
 B: うん。
 A: 2回連続でかたづけるのは嫌だから、今日はかたづけてもらっていい？
 B: ぼくもかたづけるの嫌だな。
 A: じゃあ、今日はぼくがかたづけるから、次は2回続けてかたづけてくれる？
 B: うん、分かった。
 A: ありがとう。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

では、練習をしましょう。

練習を振り返りましょう。トラブルにならないような話し方ができましたか。ワークシートの「1回目」のところに丸を付けましょう。

グループの練習で良かったところを紹介してください。先生が見付けた「話し方名人」を紹介します。

次の練習で頑張りたいポイントを決めて、「がんばりたいポイント」のところに丸を付けましょう。

また、ポイント以外でも工夫できそうなことを見付けたら、★印のところに新しいポイントとして書き加えましょう。

できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが上手に使えるようになったりするとよいですね。

【スライド11】

トラブルになりそうな場面②

【場面】

図書室に新しい本が1さつだけ入りました。
 AさんもBさんも、その本を借りたいと思っています。
 Aさんは、Bさんに「先に自分が借りたい」と言いますが、Bさんも「自分が先に借りたい」と言っています。

Aさんは、どのような話し方をすればよいでしょうか。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

次の練習をします。ワークシートの裏面を見てください。

次は、話し方のポイントを入れた台詞を考えてもらいます。

図書館に入った新しい本を自分が先に借りたいと、AさんがBさんをお願いする場面です。

【スライド12】

2回目のせりふを考えて、練習をしましょう

Aさん…話す役 Bさん…きく役

A: この本、1さつしかないんだよね。

B: うん。

A: **自分の気持ちを伝える**

B: え～、ぼくが先にこの本借りたいな。

A: **相手が納得できるように提案をする**

B: うん、分かった。

A: ありがとう。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習1の台詞を参考にしながら、全員で台詞を考えてみましょう。

ワークシートに台詞が書けましたか。

それでは、4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて練習します。

「見守る役」の人は、「話す役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。

後で、できていたポイントや良かったところを「話す役」の人に伝えてください。

練習の仕方は分かりましたか。では、2回目の練習をしましょう。

(終了後)

2回目の練習を振り返りましょう。
 トラブルにならないような話し方ができましたか。

ワークシートの2回目のところに丸を付けましょう。

グループの練習で良かったところを紹介してください。

先生が見付けた「話し方名人」を紹介しましょう。

【スライド13】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。

【スライド14】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

ふりかえりシートに記入しましょう。

【スライド15】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習の気づきや感想を発表しましょう。

- ・やさしく話すことができてよかった。
- ・ポイント以外に笑顔で話すことを頑張った。
- ・やさしく話したら、相手もやさしく返してくれるということが分かった。

今日、学習した話し方のポイントを使って、トラブルにならないような話し方ができるとよいですね。

次の時間は「トラブルが起きたときにはどのようにすればよいか」について学習します。